

第1回

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト報告書

開催日：平成28年1月23日（土）

時間：13時30分～15時

場所：動物園レクチャールーム，噴水池横繁殖水槽，京都の森展示室

参加人数：11名（事前申込14名のうち3名欠席）

運営スタッフ：釜鳴，高木，精華大学板倉ゼミ学生

- 内容：
- ・イチモンジタナゴについての生態や現在の状況の説明
 - ・イチモンジタナゴ，ヤリタナゴ，タイリクバラタナゴの生体観察
 - ・繁殖水槽と京都の森展示室で飼育しているイチモンジタナゴの見学や観察
 - ・開口器を用いた二枚貝の観察



スライドを使用しイチモンジタナゴの生態、外来生物や環境の悪化による影響で絶滅の危機に瀕している状況を説明しました。



本プロジェクトの主役であるイチモンジタナゴや動物園噴水池にも生息しているヤリタナゴ、外来生物のタイリクバラタナゴを間近で観察しました。



イチモンジタナゴ



ヤリタナゴ



タイリクバラタナゴ



繁殖水槽の見学の様子。屋外で飼育し水温も低いので、イチモンジタナゴは隠れていて姿を現しませんが、参加者のみなさんは浴槽ほどの大きさの水槽や、この中にタナゴが飼育されていることに興味深く説明を聞かれました。



噴水池の中に保管している二枚貝を学生スタッフが引き上げに行きました。



初めて使う開口器と貝の口がなかなか開かず悪戦苦闘したり、コツを掴んで簡単に開けたりなど、皆さんに体験してもらいました。今回は冬なので貝の中に産卵はありませんが、繁殖期の春ごろイチモンジタナゴが貝に産卵していれば、開口器を使ってたくさんの卵が確認できるはずです。

今回の活動でのアンケートでは、みなさんがイチモンジタナゴにさらに興味を持ち、関心が高くなった様子がうかがえました。これからも活動を通じて、イチモンジタナゴをみんなで守る取り組みを続けていきたいと思っています。



この活動は、公益財団法人自然保護助成基金第 26 期（2015 年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成による支援を受けて行われています。